

バスハイキングで

思うこと

奥谷 忠夫

小雨の中寮を十時に出発
上松駅横の橋を渡り、昔の
トロッコ道を御嶽山に向
かって進む。途中御嶽山の
噴火で埋もれた木を見まし
た。

冬には岩肌から染み出た
水が凍りつくところや猿橋
という名の橋を渡りまし
た。

昔お猿さんが生い茂る木
をつたいながら子供たちを
背負って谷を渡っていった
ところから猿橋と名付けた
のだろうと勝手に想像しな
がら・・・。

花のない時期だが藤の花
が見事でした。スキー場
はまだ雪が残っており驚き
ました。

やまゆり荘で昼食の天ぷ
らそばを食べ満足しまし
た。あいにくの天気だった
ので木曾馬を見ることはで

きなかったが、アイスク
リームを食べ楽しい一日を
過ごすことができました。
今度は秋の紅葉の開田高原
を楽しみにしております。



新緑の開田高原へ出発

クマムシの

たくましさ

支援員 五月日 美帆

私の家には田んぼがあり
ます。五月の下旬には田植
えも終わり、夜は蛙が鳴き
水中にはオタマジャクシが
泳いでいます。田んぼの淵

に生えているコケにも生物
が住んでいるそうです。そ
の生物の名前はクマムシと
言い「最強の生物」と謳わ
れているそうです。気にな
ったので調べてみました。

まずクマムシは体長1ミ
リ程度のダン緩歩動物で、陸
から海の中までと様々な環
境に生息しています。緩歩
というだけあって動くのは
ものすごく遅いそうです。
しかも動いているクマムシ
にお湯をかけたりすると普
通に死んでしまいます。ど
こが最強の生物だと思いか
もしれませんが、ここから
がクマムシの凄いところで
す。このクマムシ水分がな
くなると「乾眠」という状
態になります。この状態だ
とクマムシは一五〇度以上
の高温からマイナス二七三
度の低温に耐え、また真空
七万五千気圧、放射線は
五十七万レントゲン（ヒ
トは五百レントゲンが致死
量）に長時間耐えることが

できます。さらになんと宇
宙空間に十日間放り出され
ても生存します。

まさに最強の生物、とん
でもない生物が田んぼに、
しかもコケの中にいるとは
誰も思わないでしょう。

私もクマムシまでとはい
かずとも、打たれ強い人間
になりたいです。

4月から木曾寮で勤務さ
せていただくことになりま
した。早く一人前の支援員
になれるよう頑張りますの
でよろしく願います。



節分豆まき